

会 告 目 次

研究発表会開催通知	1
第 80 回 計算機アーキテクチャ研究会	1
第 1 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	2
第 15 回 コンピュータと教育研究会	2
第 8 回 音楽情報科学研究グループ	3
平成 3 年度研究会のお知らせ	6
平成 3 年度第 33 回通常総会の開催について	10
本会協賛等の行事案内	10
第 42 回 全国大会奨励賞候補の推薦について	11
平成 3 年度各種行事の予定について	12
「連続セミナー」の開催について	13
「並列処理シンポジウム JSPP '91」開催について	15
第 6 回「コンピュータ通信ワークショップ」参加申込書	21
「知識のリフォーメーションシンポジウム—知識表現と学習の新方向—」 シンポジウム論文募集	22
平 3 成年度会費等の納入について（お詫び）	23
新年度にあたって（お願い）—会費・購読費の請求，新会員勧誘など—	23
海外からの送金方法について	24
「学協会共通問題に関するパネル討論会」の開催について	25
学協会著作権協議会「著作権集中処理システム」発足について	25
支部だより	26
特集 グラフィクス論文募集 情報処理学会欧文誌	26
会 議 案 内	27
教 官 募 集	28
雑 報	29
編 集 室	30

研究発表会開催通知

(平成3年3月15日～4月30日)

研究会	日時		会場	備考
自然言語処理	3月15日(金)	10:00～16:30	京大会館	前号参照
数値解析	3月15日(金)	10:30～16:00	統数研	同上
アルゴリズム	3月15日(金)	13:00～17:00	機械振興会館	同上
オペレーティング・システム	3月15日(金) 3月16日(土)	13:00～17:45 9:00～11:45	名工大	同上
情報システム	3月19日(火)	10:00～18:30	東京工科大	同上
コンピュータビジョン	3月28日(木)	13:00～16:00	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ	4月22日(月)	11:00～16:30	日電	下記参照
プログラミング—言語・基礎・実践—	4月26日(金)	9:30～17:00	日本IBM	同上
コンピュータと教育	4月26日(金) 4月27日(土)	9:30～17:00 9:30～12:25	機械振興会館	同上

◆ 第80回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 富田眞治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 横田 実)

日時 平成3年4月22日(月) 11:00～16:30
会場 日本電気 本社ビル (NEC スーパータワー) 地下1階 多目的ホール
〔東京都港区芝 5-7-1, JR: 田町下車, 徒歩5分, Tel. 03 (3454) 1111〕
議題 特集: 光コンピュータ

—11:00～12:30—

- (1) 面入出力光電融合素子 (VSTEP) とその計算機応用 笠原健一 (日電)
〔概要〕 面入出力光電融合素子とそれによる機能性光接続を中心に光技術がどう計算機に活かせられるか展望する。
- (2) 並列光デバイスの特長と応用 黒川隆志, 福島誠治, 天野主税 (NTT)
〔概要〕 空間光変調器, 半導体光ゲートなどの並列光デバイスの各々の特長とその適用領域について考察する。

—13:30～16:30—

- (3) 集積光エレクトロニクスと光インタコネクション 和田 修 (富士通研)
〔概要〕 OEIC 等の半導体集積エレクトロニクスの現状と光インタコネクションに向けての今後の展開について述べる。
- (4) 光並列アレイロジックシステム: アーキテクチャと並列プログラミング 一岡芳樹, 岩田昌也, 谷田 純 (阪大)
〔概要〕 光アレイロジックを基本演算原理とする並列光演算システムの構成と並列プログラミング法について述べる。
- (5) 光ニューラルコンピューティング 久間和生, 田井修市, 光永一正 (三菱電機)
〔概要〕 光ニューラルコンピューティングの最近の動向と問題点と将来動向を当社の研究を中心に述べる。
- (6) パターン認識用並列イメージプロセッサ 村重仁勇, 秋葉 敦, 伊賀健一 (東工大)
〔概要〕 平板マイクロレンズアレーを用いる光学的 Walsh 直交展開による認識系の実験とシミュレーション

—16:30~17:30—

見 学 NEC スーパータワー (希望者)

◆ 第1回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

(発表件数: 6 件)

(ソフトウェア基礎論研究会とプログラミング言語研究会の統合)

(主査: 安村通晃, 幹事: 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成3年4月26日(金) 9:30~17:00

会 場 日本アイ・ビー・エム 東京基礎研究所 Kビル 5階

(東京都千代田区三番町 5-19, 地下鉄(半蔵門線): 半蔵門(5番出口)下車, 徒歩6分(霞友会館の南約100m), Tel. 03 (3288) 8200)

議 題

—9:30~11:30—

(1) オブジェクト指向論理型言語 Common ESP の言語機能 佐藤泰典, 伊藤民哉, 中澤 修 (AI 言語研)

[概要] Common ESP におけるモジュール化機能, 論理型実行制御機能および他言語呼び出し機能などについて述べる。

(2) Generalized Partial Computation for a Lazy Functional Language 高野明彦 (日立)

[概要] 対象となる関数型プログラムの文脈情報を利用する一般部分計算法について述べる。

(3) 継続つきプログラミング言語と線形論理 西崎真也 (京大)

[概要] 継続つきプログラミング言語と線形論理との関連を考察する。

—13:00~14:20—

(4) A Small Calculus for Concurrent Objects 本田耕平 (慶大)

[概要] π 計算に基づく小さい形式系を紹介する。特に, 局所性概念の形式的表現とその意味論的帰結を中心に論じる。

(5) Cベースのオブジェクト指向言語における再コンパイルの短縮 安田 和, 小野寺民也 (日本 IBM)

[概要] オブジェクト指向言語で問題になっている再コンパイルの短縮のための手法と評価を述べる。

—14:30~17:00—

(6) パネル討論: 理論は実践を導けるか, 実践は理論を生かせるか? 司会: 萩谷昌己 (京大)

パネリスト・理論代表: 二木厚吉 (電総研), 大堀 淳 (沖電気), 柴山悦哉 (龍谷大)

・実践代表: 安村通晃 (慶大), 竹内郁雄 (NTT), 上田和紀 (ICOT), 村井 純 (慶大)

◆ 第15回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 22 件)

(主査: 有山正孝, 幹事: 雨宮幸雄, 大槻説乎, 竹谷 誠)

日 時 平成3年4月26日(金) 9:30~17:00

4月27日(土) 9:30~12:25

会 場 機械振興会館 6階 65号室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (3434) 8211)

議 題 特集: 知的 CAI

4月26日(金)

—9:30~12:00—

(1) アプリケーションソフトウェア学習支援システムの研究・開発(5)

波多野和彦 (十文字学園女子短大), 坂元 昂 (東工大)

(2) コースウェア作成支援エキスパートシステムに関する一考察 —「知識と操作」モジュールの作成—

田村武志 (KDD), 佐藤文博 (中央情報教育研究所), 渋谷二三男 (城西大女子短大)

(3) Prolog プログラミングの学習を支援するシステム 府川和生, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

(4) UNIX コマンドの学習を支援するシステム 赤井隆志, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

(5) 学習者の問題解決を支援する知識ベースシステムの試作 —CAFEKS 問題解決支援モード version 0—

宮本 健, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

(6) メディアベースの自由探訪を支援する知識ベースシステム —プリミティブの提案と試作—

西田正美, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

—13:00~17:00—

(7) 伝達知識の理解モデルに依存した ITS の指導方略

渡辺成良, 渋澤良裕 (群大)

(8) ITS における誤り仮説に基づいた非単調な教授のプランニングについて

松田 昇 (金沢工大), 岡本敏雄 (東京学芸大)

(9) 非単調推論による学習者の理解の深いモデル化について (7)

森広浩一郎, 岡本敏雄 (東京学芸大)

(10) 学習者の類推過程を支援する ITS の教材知識獲得手法

松原行宏, 前田龍一, 小野真道, 長町三生 (広大)

(11) プログラムのアルゴリズム診断を中心とした ITS の研究 (6)

安田恭一郎 (トッパンムーアシステムズ), 岡本敏雄 (東京学芸大)

(12) LISP による CAI の開発状況 (3)

最首和雄, 横田俊幸, 日下路千春 (山形大), 富樫 進 (キャノンソフトウェア)

(13) 英語教材作成のための知的オーサリングシステム

岡本 竜, 山本米雄 (徳島大)

(14) 汎用性を目指した知的 CAI システムの枠組み

久保田広, 富谷喜一, 西岡利博 (三菱総研)

(15) 自然推論に基づく地理学習

藤崎健幸 (徳島大), 金西計英 (関西学院大), 山本米雄 (徳島大)

4月27日 (土)

(16) 教材知識構築支援システム (2)

小林 学, 吉川 厚, 大場勇治郎 (慶大)

(17) 説明による教育的支援の高度化に関する検討 —対象理解支援システム LEIEC/I の開発—

柏原昭博, 西川智彦, 桐生健一, 平島 宗, 豊田順一 (阪大)

(18) マイクロワールド型 CAI と学習者の意図の推定

大槻説乎, 竹内 章, 有村博紀 (九工大)

(19) 知的な対話型 CAL システムの試作 (2)

平賀正樹 (富士通), 馬原宗俊 (富士通大分ソフトウェアラボラトリ), 後藤哲博 (TNB ソフトウェア)

(20) BASIC 言語実習教育助言システム BSADV の教材知識の構造

対馬勝英, 加賀英徳 (大阪電通大), 藤井研一 (阪大)

(21) 指導計画支援のための教材構造と機能

田中淳志, 渡辺豊英, 杉江 昇 (名大)

(22) 問題解決空間の認識法と自然言語対話システムの研究 —積み木の世界を題材にして—

岡本敏雄, 池田武史 (東京学芸大)

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (教育工学研究会, 人工知能と知識処理研究会), 日本教育工学会, CAI 学会との共催で開催されます。上記会告は, 2月18日現在の申し込みによるもので上記期日以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 3月号に掲載されますので, ご了承ください。

◆ 第8回 音楽情報科学研究グループ

(発表件数: 2件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日 時 平成3年4月27日 (土) 14:00~16:30

会 場 東京ユニオンチャーチ 地下ホール

〔東京都渋谷区神宮前 5-7-7, 地下鉄 (半蔵門線・千代田線・銀座線): 表参道 (A-1 出口) 下車, 原宿方向に向かって左側を徒歩2分, Tel. 03 (3400) 0047〕

議 題

(1) Prolog 節形式の作曲編曲用内部データの設計

西岡大祐 (農工大)

〔概要〕 Prolog による作曲編曲システム用の内部データを設計した。楽譜データ形式 Coda との相互交換系も作成した。

(2) インスタレーション作品におけるサウンドデザイン —「Project FlashBack 1991」について—

平野砂峰旅 (ヤマハ)

〔概要〕 展覧会「FlashBackIII, IV」において計算機を利用したサウンドデザインを行った。制作プロセスを紹介する。

問合せ先: 増井誠生 (富士通研) Tel. 03 (3730) 3111

◆ ソフトウェア工学研究会

第 79 回 研究会を下記のとおり開催いたします。多数のご発表をお待ちしております。奮ってご応募ください。発表をご希望の方は、研究会発表申込み書（前号欄末添付）に発表題目と発表者名、50 字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申込みください。

日 程 平成 3 年 7 月 18 日（木）・19 日（金）

会 場 富山大 工学部

発表申込締切 平成 3 年 4 月 30 日（火）

◆ 人工知能研究会

◆ 計算機アーキテクチャ研究会

◆ オペレーティング・システム研究会

◆ 数値解析研究会

◆ プログラミングー言語・基礎・実践ー研究会

発表論文募集

「1991 年並列／分散／協調処理に関する『大沼』サマー・ワークショップ (SWoPP 大沼 '91)」

上記 5 研究会は、「1991 年並列／分散／協調処理に関する『大沼』サマー・ワークショップ (SWoPP 大沼 '91)」ということで、並列／分散／協調処理を横断的なキーワードとして、研究会を同時・連続開催いたします。各研究会の日程、特集等は下記のとおりです。発表をご希望の方は下記の方法にてお申込みください。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日 程 平成 3 年 7 月 17 日（水）数値解析研究会 (NA)

プログラミングー言語・基礎・実践ー研究会 (PRG)

7 月 18 日（木）人工知能研究会 (AI)

オペレーティング・システム研究会 (OS)

7 月 19 日（金）計算機アーキテクチャ研究会 (ARC)

会 場 函館大沼プリンスホテル（北海道亀田郡七飯町）

各研究会特集および担当幹事（特集内容に関する問合せ先）

● AI I. 並列／分散／協調に関する一般発表（10 ページ以内、30～40 分程度）

II. 並列／分散／協調に関するポジション・ペーパー（2 ページ、10～15 分程度）

AI（研究）にとって並列／分散／協調が本質である理由は何か？、本質でない理由は何か？、並列と分散と協調の違いはどこにあるか？、などに関する自由討論のたたき台

担当：松原 仁（電総研） Tel. 0298 (58) 5917, E-mail: matsubar@etl. go. jp

● ARC マルチプロセッサ・システムのアーキテクチャと利用技術、および並列処理全般

担当：村上和彰（九大） Tel. 092 (573) 9611（内 445）、E-mail: murakami@is. kyushu-u. ac. jp

● OS OS ならびに性能評価に関する全般

担当：吉澤康文（日立） Tel. 044 (966) 9111（内 4011）

E-mail: yoshiza@hstdlgw. sdl. hitachi. co. jp

● NA 並列アルゴリズムと性能評価

担当：関口智嗣（電総研） Tel. 0298 (58) 5877, E-mail: sekiguchi@etl. go. jp

● PRG 並列／分散／協調プログラミングー言語・基礎・実践ー

担当：松岡 聡（東大） Tel. 03 (3812) 2111（内 4108）、E-mail: matsu@is. s. u-tokyo. ac. jp

発表申込方法 研究会発表申込書（前号欄末添付）に発表希望研究会（SWoPP と明記して第 2 希望まで記入のこ
と）、発表題目、50 字以内の概要をご記入のうえ、4 月 26 日（金）（締切厳守）までに学会事務局
研究会係までお申込みください。

ワークショップ全体に関する問合せ先（参加申し込み、およびホテル宿泊等）

村上和彰（九大）FAX 092 (591) 2716／関口智嗣（電総研）FAX 0298 (58) 5882

E-mail: swopp 91@etl. go. jp（共通）（なるべく電子メールにてお願いします）。

◆ 第84回 データベース・システム研究会

「データベース金印よかとワークショップ」発表論文募集

情報処理学会データベース・システム研究会および電子情報通信学会データ工学研究会は毎年7月に合同でデータベースに関する研究会を開催しております。一昨年は沖縄で、昨年は北海道で開催し実り多い成果が得られました。本年も下記のように福岡で開催いたします（詳細は前号をご参照ください）。多くのご発表、ご参加をお待ちしております。

日 程 平成3年7月17日（水）午後～19日（金）午前

場 所 福岡県志賀島（しかのしま）国民休暇村

テ ー マ データベース応用と研究開発の現場から（ただし、発表テーマはこれに限りません）

オブジェクト指向データベースや演繹データベースなど、新しいデータベースの研究はほぼ先が見えてきました。今後どんなことを研究開発すべきか悩んでおられる研究者もおられるかもしれません。一方、現場の技術者の方々は現実の課題に苦勞されておられるかも知れません。このような状況を踏まえて、研究者と企業の現場の技術者との忌憚のない意見・見解の交換の場としたい。研究者には「いま取り組みもうとしている研究」について、現場の技術者には「泥臭い仕事」について気楽に発表していただく場です。

発表申込締切 平成3年4月19日（金）（発表原稿締切は6月末の予定です）

連絡先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九大・工・情報工学 牧之内顕文

Tel. 092 (641) 1101 (内 6055), FAX 092 (632) 5204, Em akifumi@csce. kyushu-u. ac. jp

*研究会に発表をご希望の方は、研究会発表申込み書（前号欄末添付）に発表題目と発表者名、50字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申込みください。

◆「システムインタフェース検証」研究グループの新設について

（主査：斎藤信男，幹事：竹中市郎，中原 康，中尾成克）

アプリケーションプログラムのポータビリティ向上と標準システムの普及を図るため，OA，言語およびその処理系，プロトコル等基本ソフトウェアのインタフェースの標準化が各分野で精力的に進められています。これに対し，国の内外で，これら標準仕様に対する各種適合性検証試験（Conformance Testing）が行われています。

そこで，わが国における適合性検証に関する全体のレベルをさらに向上させ，国際標準化活動に対しても積極的な貢献を可能とするために，システムインタフェース適合性検証をテーマに幅広く議論するため，上記研究グループを平成3年1月に設立し，2年間活動していくことになりました。

当面は以下の分野における適合性検証（あるいは検定）に関する研究を対象といたします。

- OS・言語およびその処理系・グラフィックパッケージ等基本ソフトウェアのインタフェース
- OSI等のインタフェースプロトコル

なお，本研究グループの成果については，本誌の報告欄等でお伝えする予定です。

平成 3 年度研究会のお知らせ

平成 3 年度は、下記のとおり **21 研究会**（*：新設 1，統合 1（ソフトウェア基礎論とプログラミング言語の 2 研究会の統合））で行います。

- 年間をとおして参加の場合は登録をお願いします。（ただし、本学会員に限る.）
- 登録されていない会員は研究会当日、資料代 ￥ 1,000（学生 ￥ 500）をいただきます。（ただし、部数に制限があります.）

研 究 会 名		○主 査 幹 事	取り扱う研究分野の例
1	自然言語処理	○野村 浩郷 田中 裕一 徳永 健伸 内藤 昭三	言語処理, 言語行動, 言語資料・統計, 漢字処理, 専門用語・辞書, 構文解析, 意味・文脈処理, 談話処理, 知識処理, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2	データベース・システム	○増永 良文 北川 博之 田中 克己 鶴岡 邦敏	基礎理論, データモデル, DB 設計, DB 言語, 質問処理, 並行処理, 分散 DB, DB プロセッサ, マルチメディア DB, オフィスシステム, エンジニアリング DB, 知識ベース, ユーザインタフェース, 知能 DB, オンラインシステム, 演繹 DB, オブジェクト指向 DB, DB 応用他
3	人工知能	○石塚 満 原口 誠 松原 仁 吉田 裕之	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, ファジー理論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散 AI, AI アーキテクチャ
4	記号処理	○竹内 郁雄 相場 亮 小谷 善行 多田 好克	リスト, 文字列, オブジェクト, プログラム自身などの記号処理 (含並列), アーキテクチャ, 計算モデル, 言語 (Lisp, Prolog, オブジェクト指向言語など), 処理系, ツール, 応用 (数式処理, AI, プログラミング環境など)
5	ソフトウェア工学	○原田 賢一 宇都宮公訓 大槻 繁 大蒔 和仁	プログラム設計方法, 形式的仕様・プログラム図式, プログラミング方法論, 検査・検証, ソフトウェアツール, 開発環境, 再利用・プログラム合成, 管理, メトリックス, 人的要因, 教育
6	マイクロコンピュータとワークステーション	○加藤 肇彦 金子 博昭 水治 義弘 山田 剛	マイクロコンピュータとワークステーションに関し, 1. ハードウェア (インタフェース, アーキテクチャ, マイクロプログラム, マルチプロセッサ), 2. オペレーティング・システム (汎用 OS, リアルタイム OS), 3. 開発支援環境 (言語と言語処理系, 仕様記述・評価, 検証技術), 4. 各種応用分野, 5. 他の技術分野との境界領域
7	計算機アーキテクチャ	○富田 眞治 後藤 厚宏 村上 和彰 横田 実	計算機システムのアーキテクチャ全般 (構成・設計・制御・利用技術), 並列処理アーキテクチャ, VLSI アーキテクチャ, 各種専用計算機アーキテクチャ
8	オペレーティング・システム	○吉澤 康文 清水謙多郎 園部 正幸 田胡 和哉	1. OS の基礎・構造論, 2. 新 OS 構築の実例, 3. 並列・分散処理 OS, 4. 計算機システムの性能評価・解析ならびに信頼性, 5. OS の人間工学的設計論, プログラミング開発環境, 6. 関連する計算機システムの諸問題
9	コンピュータビジョン	○谷内田正彦 尺長 健 富田 文明	視覚情報処理: 画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元復元, ステレオ視, モーション, ロボットビジョン, 視覚モデル, 画像データベース, 画像プロセッサなど
10	設計自動化	○小澤 時典 川戸 信明 佐藤 政生 村岡 道明	LSI, プリント基板, 論理装置の設計自動化に関連した分野: ハードウェア設計言語, 論理合成, シミュレーション, 設計検証, テスト容易化設計, テスト, 診断, レイアウト自動設計, 設計エキスパートシステム, CAD エンジン等

研 究 会 名		○主 査 幹 事		取り扱う研究分野の例
11	マルチメディア通信と分散処理	○河岡 司	滝沢 誠 寺中 勝美 水野 忠則	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークおよび分散処理システム (LAN, 広域網, 分散コンピューティング, ネットワーク管理, グループウェア, 知的通信等)
12	ヒューマンインタフェース	○安西祐一郎	井関 治 小川 克 廣瀬 通孝	1. 計算機システムのヒューマンインタフェース, 2. 認知情報処理のモデル, 3. インタフェースシステム, 4. 協調作業のインタフェース, 5. インタフェースとコミュニケーション, 6. 日本文入力方式, 7. 文書処理方式とオフィスオートメーション
13	グラフィクスと CAD	○中嶋 正之	宇野 栄 西原 清 間瀬 健二	グラフィクスソフトウェア, グラフィクスハードウェア, グラフィクス言語, 図形処理と表示アルゴリズム, 形状処理, アニメーション, ユーザインタフェース, CAD/CAD, AI の CAD への応用, グラフィクスワークステーション
14	数値解析	○浜田 穂積	関口 智嗣 土谷 隆 吉原 郁夫	・数値計算とその解析, ・スーパーコンピュータによる超大型計算, ・数学ソフトウェアの移植, ・数式処理との結合, ・計算機や言語への提案
15	情報システム	○伊吹 公夫	槻木 公一 西原 良 初瀬川 茂	情報システム (OIS, MIS, 情報サービスなど) の分析, 設計, 構築, 利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 情報システムと人間・組織, 社会
16	*プログラミング —言語・基礎・実践— (ソフトウェア基礎論と プログラミング言語の 2 研究会の統合)	○安村 通晃	久世 和資 秋谷 昌 松岡 己聡	1. 計算のモデルとプログラミングの基本概念, 2. プログラミング言語とその設計, 3. プログラミング言語の実現, 4. プログラミング工程と支援環境, 5. プログラミングのための新しい概念, 方法, パラダイム
17	情報学基礎	○有川 節夫	岩野 和生 根岸 正光 吉田 郁三	1. 情報の表現, 認識, 分類, 評価の手法など, 2. 情報の標準化, 流通, 管理の方式など, 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報, 非文字情報の処理など
18	コンピュータと教育	○有山 正孝	雨宮 幸雄 大槻 説 竹谷 平誠	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成, ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のカリキュラム, 具体的教育法, 実践例等, 2. 知的 CAI を含む教育における計算機応用.
19	アルゴリズム	○西関 隆夫	浅野 孝夫 岡本 栄司 安浦 寛人	1. グラフ, ネットワーク, VLSI などに関する離散アルゴリズム, 2. 計算幾何学と計算代数学, 3. 暗号, 符号などの数論的アルゴリズム, 4. 確率アルゴリズム, 近似アルゴリズム, 5. 並列アルゴリズム, 分散アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 6. データ構造, 7. 計算複雑さの理論
20	人文科学と コンピュータ	○杉田 繁治	及川 昭文 小沢 雅 洪 政国	1. 人文科学, 博物館・美術館への情報処理, コンピュータの応用要素と実現技術, 2. 人文科学系ユーザにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と技術, 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力, 4. コンピュータ, 情報処理の社会的側面
21	*新 設 情報メディア	○相磯 秀夫	石塚 英男 上林 憲行 田中 護 中川 透	情報メディアの科学と工学: 1. メディアの電子化, ハイパー化, 映像化, 2. メディア機械 (仮想現実等), 3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメタファと環境

年 月 日

研究会発表申込書 (様式 4)

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会										
発表希望の 研究会開催日	年 月 日 ()										
タイトル											
発表者名 (略称所属)											
概要 (50 字以内)											
発表申込者住所	〒		Tel. — (内線)								
氏 名											

年 月 日受付

研究会名 資料 No. 開催日 幹事送付済み その他

		年 月 日		
--	--	-------	--	--

会
告

年 月 日

平成 3 年度研究会登録申込用紙

新 規 専 用

会員 No. _____ 会員氏名 _____

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。（＊登録は本学会員に限ります）

申 込 み (コード)	研 究 会 名	登録費	申 込 み (コード)	研 究 会 名	登録費
☐ NL-AA	自然言語処理	3,500	☐ HI-MM	ヒューマンインタフェース	3,000
☐ DBS-BB	データベース・システム	3,500	☐ CG-NN	グラフィクスと CAD	3,500
☐ AI-CC	人工知能	3,000	☐ NA-OO	数値解析	3,000
☐ SYM-DD	記号処理	2,500	☐ IS-QQ	情報システム	3,500
☐ SE-EE	ソフトウェア工学	3,000	☐ PRG-RP	プログラミング —言語・基礎・実践—	3,000
☐ MIC-FF	マイクロコンピュータと ワークステーション	3,000	☐ FI-SS	情報学基礎	3,000
☐ ARC-GG	計算機アーキテクチャ	4,000	☐ CE-TT	コンピュータと教育	3,000
☐ OS-HH	オペレーティング・システム	2,500	☐ AL-UU	アルゴリズム	3,500
☐ CV-JJ	コンピュータビジョン	3,500	☐ CH-VV	人文科学とコンピュータ	2,500
☐ DA-KK	設計自動化	3,500	☐ IM-WW	情報メディア	2,500
☐ DPS-LL	マルチメディア通信と 分散処理	3,000			

登録申込み _____ 件 合計金額 _____ 円

自
宅

住所：〒 _____
Tel.： _____

勤
務
先

住所：〒 _____
名称： _____
所属： _____
Tel.： _____ 内 (_____)

- 資料送付先（学会誌送付先と同様） 自 宅 ・ 勤 務 先
- 請求書（見・納・請） 要 (_____ 部) ・ 不 要

※ 登録上の注意

- 登録費の払込は登録手続終了後，別途発送いたします登録費専用振替用紙にてご送金願います。

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3階 Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925
(社) 情報処理学会 研究会係

会
告

平成3年度 第33回 通常総会の開催について

平成3年度通常総会を下記によって開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

- | | |
|------|--|
| 日 時 | 平成3年5月20日(月) 16:00~17:40 |
| 会 場 | 機械振興会館ホール(地下2階) |
| 総会次第 | 1. 会長あいさつ
2. 平成2年度事業報告および決算報告
3. 平成3年度事業計画および予算審議
4. 平成2年度功績賞の発表と表彰
5. 平成2年度論文賞の発表と表彰
6. 新役員の選定
7. その他 |

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(会場6階66号室)。会員が一堂に会し、直接に話していただける得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

- 第43回産業用ロボット利用技術講習会
平成3年3月19日(火)~20日(水) (社)日本電機工業会
平成3年3月28日(木)~29日(金) 大阪府社会福祉会館
- 第49回 イブニングセミナー「設計美学による機械設計法」
平成3年5月10日(金), 17日(金), 24日(金), 31日(金),
6月7日(金), 14日(金), 21日(金), 28日(金) 東京・(社)日本機械学会, 伊
システム制御情報チュートリアル講座「制御工学へのガイド・ライン」
平成3年6月5日(水), 6日(木), 7日(金), 12日(水), 13日(木) 東京・日本青年館
- 第3回 公開シンポジウム「医療における画像ファイルシステム」
平成3年6月6日(木)~7日(金) 東京・社会文化会館
- Computer Graphics Osaka '91
平成3年6月12日(水)~15日(土) マイドームおおさか, 伊
- The Logic Programming Conference '91
平成3年7月8日(月)~11日(木) 東京・機械振興会館
- 第3回 ロボティクス・自動化システムシンポジウム
平成3年9月12日(木)~13日(金) 東京・中央大
- 第34回 自動制御連合講演会
平成3年11月20日(水)~22日(金) 神奈川・慶應義塾大

* 詳細は本号会議案内欄参照

会
告

第 42 回 全国大会 奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後 10 年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約 10 名を選び、奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る 3 月 12 日～14 日に東京工科大学で開催される第 42 回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者 1 名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第 42 回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 石田副会長）で行い、その発表と表彰は 10 月に開催の第 43 回全国大会（名古屋大学）時に行われる予定です。

記

■ 定範囲および推薦数

第 42 回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者 1 名

■ 推薦資格 本学会正会員に限る。

■ 推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてお送りください。

■ 推薦締切 平成 3 年 3 月 29 日（当日消印有効）

表 彰 規 程（抜 粋）

第 5 章 奨 励 賞

第 19 条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第 20 条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第 1 回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後 10 年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第 21 条 第 20 条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第 22 条 奨励賞は、毎回約 10 名ずつ選定し、贈呈する。

第 23 条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1 名につき 20,000 円とする。

平成 3 年度各種行事の予定について

4 月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご留意ください。

行 事	期 日	会 場
第 33 回 通常総会	5・20 (月)	機械振興会館
第 43 回 全国大会	10・20 (日)～22日 (火)	名古屋大学
第 44 回 全国大会	(未 定)	(未 定)
平成 3 年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	9・10 (火)～12 (木)	東京電機大学
~~~~~		
(シンポジウム)		
1991 年並列処理	5・14 (火)～16 (木)	神戸コンベンションセンタ-
オブジェクト指向ソフトウェア技術	5・30 (木)～31 (金)	機械振興会館
6th Joint Workshop on Computer Communications	7・17 (水)～19 (金)	北九州プリンスホテル
第 24 回 情報科学若手の会	7・29 (月)～31 (水)	多摩市
夏のシンポジウム	8・24 (土)～26 (月)	箱 根
DA シンポジウム '91	8・29 (木)～31 (土)	蒲田市
自然言語処理と知識獲得	10・28 (月)～29 (火)	機械振興会館
マイクロコンピュータアーキテクチャ	11・12 (火)	"
マルチメディア通信	11・14 (木)	"
グラフィクスと CAD	11・20 (水)～21 (木)	"
知識のリフォーメーション	11・27 (水)～28 (木)	東京大学山上会館
利用者指向の情報システム	12・ 5 (木)～ 6 (金)	機械振興会館
情報工学科のコアカリキュラム 運用とその問題点	12・13 (金)～14 (土)	"
アドバンスド・データベース・システム	12・18 (水)～19 (木)	"
第 33 回 プログラミング・シンポジウム	平成 4 年 1・ 8 (水)～10 (金)	箱根・ホテル小涌園
(講習会)		
連続セミナー	4・25 (水)	機械振興会館
	6・25 (火)	"
	8・22 (水)	"
	10・24 (水)	"
	12・12 (水)	"
	平成 4 年 2・20 (木)	"
人物のモデリングとレンダリング	9・27 (金)	"
(共 催)		
第 22 回 画像工学コンファレンス	12・10 (火)～12 (木)	ABC 会館
1991 情報学シンポジウム	平成 4 年 1・ 8 (火)～ 9 (水)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
Int'l. Symposium on Shared Memory Multiprocessing	1991 年 4・ 2 (火)～ 4 (木)	サンシャインプリンスホテル (池袋)
2nd. Int'l. Symposium on Database Systems for Advanced Applications	4・ 3 (水)～ 5 (金)	工学院大学 (東京・新宿)
1st. Int'l. Workshop on Interoperability in Maltidatabase Systems	4・ 8 (月)～ 9 (火)	京都大学会館
The 15th Annual Int'l. Computer Software and Applications Conference	9・ 9 (月)～13 (金)	工学院大学 (新宿)

## 「連続セミナー」の開催について

大型コンピュータを中心とした 80 年代までの計算機の世界は、半導体と通信の進化によって、パソコン、ワークステーション、サーバーを中心とするオープンアーキテクチャのネットワークに大きく変化しつつあります。本セミナーにおいては 2000 年をめざし、このパソコンとワークステーションのキーワード的なトピックスについてを内外の専門家を招いて、その現状と未来を予測します。

このセミナーは下記のテーマによる、6 回の連続セミナーです。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時	第 1 回 平成 3 年 4 月 25 日 (木)
	第 2 回 平成 3 年 6 月 25 日 (火)
	第 3 回 平成 3 年 8 月 22 日 (木)
	第 4 回 平成 3 年 10 月 24 日 (木)
	第 5 回 平成 3 年 12 月 12 日 (木)
	第 6 回 平成 4 年 2 月 20 日 (木)
場 所	機械振興会館大ホール (地下 2 階) (港区芝公園)
参 加 費	会員 120,000 円, 非会員 180,000 円, 学生 12,000 円
定 員	250 名 (学生は 30 名) になり次第締切ります。
申込締切	平成 3 年 4 月 22 日 (月) 厳守
資 料	毎回議事録を作成し、次の時に配布いたします。

### ——プログラム(案)——

講演者が決定次第ご案内いたします。

(外国人の講演は同時通訳付です。)

#### 〔第 1 回〕 パーソナルコンピュータとワークステーション 90 年代の課題

- ・ 90 年代のパソコンとワークステーションの課題
- ・ パソコンの 2000 年までのシナリオ
- ・ 新世代のワークステーション
- ・ パネルディスカッション

西 和彦 (アスキー)

#### 〔第 2 回〕 パーソナルコンピュータとワークステーションのマルチ、ハイパーメディア化

- ・ マルチメディア技術の解説
- ・ マルチメディアのハードウェア
- ・ マルチメディアのソフトウェア
- ・ パネルディスカッション

#### 〔第 3 回〕 DOS と UNIX とソフトウェアツールのこれから

- ・ オペレーティングシステムの歴史と展望
- ・ UNIX, WINDOWS, LAN のこれから
- ・ ソフトウェア開発環境の課題
- ・ パネルディスカッション

#### 〔第 4 回〕 CISC 対 RISC CPU のこれから

- ・ マイクロプロセッサの発展の歴史と展望
- ・ CISC 型のマイクロプロセッサの動向
- ・ RISC 型マイクロプロセッサの歴史と展望
- ・ パネルディスカッション

#### 〔第 5 回〕 インターパーソナルコンピューティングのこれから

- ・ インターパーソナルコンピューティングの定義
- ・ インタネットと FDDI の動向
- ・ ネットワークとソフトウェアのこれから
- ・ パネルディスカッション

#### 〔第 6 回〕 2001 年のパーソナルマシン

- ・ 総 括
- ・ ワークステーションのこれから
- ・ プレイステーションのこれから
- ・ パネルディスカッション

西 和彦 (アスキー)

## 「連 続 セ ミ ナ ー」

## 参 加 申 込 書

平成 3 年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（6 回分）（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 120,000 円 非会員 180,000 円 学生会員 12,000 円

＊参加費には、議事録代が含まれています。

## ○議事録のみ（1 回分）会員 20,000 円 非会員 30,000 円 _____冊

## ○送金方法

＊ 合計 _____円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) _____月 _____日送金します。

＊（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

（社）情報処理学会 連続セミナー係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____銀行宛

・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より

・送金人名義 _____様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

担当者名 _____

請求書 通、見積書 通、納品書 通

Tel. _____

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

## ○申 込 先

情報処理学会 連続セミナー係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ

氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) Fax. _____

## 「並列処理シンポジウム JSPP '91」開催について

21世紀に向けた新しい並列処理技術に対する期待は最近とみに高まっております。並列処理シンポジウムは、並列処理の基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用などの広範な分野について、研究・開発・製造にたずさわる人、利用する人が一堂に会して議論し、それを通じてさらなる飛躍をもたらすことを目的としています。

今回で3回目を迎える並列処理シンポジウムはこれまで日本における並列処理の中心的な研究交流の場の1つとして、ホットな話題を提供してきました。昨年行なわれた第2回並列処理シンポジウム JSPP '90では、約250人の参加者を得て活発な議論が展開され、日本の並列処理研究の水準の高さを印象づけました。第3回の JSPP '91では、さらに学際的な並列処理研究の発展を目指して、並列処理研究のトップレベルの研究発表を中心に、並列処理の核心に迫る議論が期待されております。3日間の開催期間中、57件の一般発表と2件の招待講演、1件のパネル討論を予定しています。ぜひ、多数の方々のご参加をお待ちしております。

**日 時** 1991年5月14日(火)～5月16日(木)

**場 所** 神戸コンベンションセンター(ポートアイランド)

**交 通** ●山陽新幹線新神戸駅より地下鉄にて三宮駅へ。

●三宮駅(JR・地下鉄・阪神・阪急)よりポートライナーにて市民広場前下車2分。

●新神戸駅よりタクシーで約15分、三宮駅よりタクシー約10分。

**共 催** 情報処理学会データベース研究会、同計算機アーキテクチャ研究会、同オペレーティングシステム研究会、同数値解析研究会、同プログラミング言語研究会、同アルゴリズム研究会、電子情報通信学会コンピュータシステム研究会

**協 賛** 日本ソフトウェア科学会

**参 加 費** 正会員 25,000 円 非会員 30,000 円 学生(含大学院生) 10,000 円

(論文集のみ、5,000 円(送料込み))

☆共催、協賛学会員は正会員として扱います。

☆参加費には、懇親会費が含まれています。

**申込締切** 1991年(平成3年)4月15日(月)

**申込み先** 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 シンポジウム(JSPP '91) 係

Tel. 03 (3505) 0505, Fax 03 (3584) 7925

注) 1. 参加申込み後の取消は、1991年4月19日までにお願いいたします。それ以降あるいは連絡なき場合には、参加費を徴収させていただきます。

2. 会場等の準備の都合上、お申込みはお早めをお願いいたします。

### 宿泊設備

以下に示すホテルに宿泊枠を確保してありますので、ご予約の際には、「JSPPに参加する」との旨をお伝えください。なお、宿泊枠が確保されている期限は4月半ばないし4月末までです。また、それまでに宿泊枠が尽きれば、それ以後の予約は一般と同じ扱いになります。

宿泊枠確保したホテルおよび紹介するホテル

宿泊料金はすべてサービス料、税込み料を示してあります。

●ビジネスホテル三陽(中央区北長狭通 2-1-6, Tel: 078 (392) 0356) 三宮駅徒歩3分

S6,000(込み, 15室確保) T10,000(込み, 5室確保)(4月末まで)

●第2北上ホテル(中央区加納町 4-1-8, Tel: 078 (392) 0401) 三宮駅徒歩3分、ポートピアまで20分

S6,300(込み, 20室確保) T11,000(込み, 5室確保)(4月15日まで)

●神戸プラザホテル(中央区元町通 1-13-12, Tel: 078 (332) 1141) 三宮駅徒歩7分、ポートピアまで25分

S6,952(込み, 20室確保) T12,978(込み, 5室確保)(10%引き, 4月14日まで)

また、以上の他にもたとえば次のようなホテルなどが利用可能です。ただし、扱いは一般の宿泊日扱いとなりますのでご注意ください。

●神戸タワーサイドホテル(中央区波止場町 6-1, Tel: 078 (351) 2151)



元町駅徒歩 10 分, ポートピアまで 40 分 (タクシーだと 15 分)

S 4,871 (込み) T 9,630 (込み)

- カサベライン神戸 (兵庫区西上橋通 1-4-27, Tel: 078 (578) 0001)

地下鉄大倉山徒歩 3 分, ポートピアまで 30 分

S 7,210 (込み) T 14,420 (込み)

- クオリティン神戸 (中央区磯上通 4-1-12, Tel: 078 (241) 2233)

貿易センター徒歩 5 分, ポートピアまで 15 分

S 7,364 (込み) T 12,463 (込み)

- ポートピアホテル (中央区港島中町 6-10-1, Tel: 078 (302) 6877)

ポートライナー市民広場前駅下車 1 分, JSPP '91 会場すぐ近く

S 14,500 (込み) T 25,000 (込み)

[スケジュール表]

5/14 (火)	10:00~	受付開始		
	13:20~13:30	開会の辞・実行委員長挨拶 (0 A会場)		
	13:30~15:00	X 1 (1 A会場) 招待講演 「並列処理コンパイラのアルゴリズム」 「並列処理コンパイラとメモリ管理」 司会 村岡 (早大)		
	15:00~15:30	コーヒーブレイク		
	15:30~17:30	Arch-1 (2 A会場) データベース & メモリ 座長 田中(英) (東大)	App-1 (2 B会場) 数値処理 座長 小柳(義) (筑波大)	Neuro (2 C会場) 超並列近似計算モデル 座長 小池 (日電)
	18:00~20:00	懇 親 会 (ポートピアホテル)		
5/15 (水)	9:00~10:30	Arch-2 (3 A会場) 並列推論マシン 座長 弓場 (電総研)	Arch-3 (3 B会場) 専用マシン 座長 西澤 (松下)	Sys-1 (3 C会場) 並列言語 座長 柴山(悦) (龍谷大)
	10:30~11:00	コーヒーブレイク		
	11:00~12:30	Arch-4 (4 A会場) スーパスカラアーキテクチャ 座長 長島 (日立)	App-2 (4 B会場) LSI 用 CAD 座長 山口 (電総研)	Bas-1 (4 C会場) 並列計算モデル 座長 曾和 (名工大)
	12:30~14:00	昼 食		
	14:00~15:30	Arch-5 (5 A会場) データフローマシン 座長 富田 (九大)	Arch-6 (5 B会場) 相互結合網 座長 金田 (神戸大)	Sys-2 (5 C会場) 並列システムと評価 座長 雨宮 (九大)
	15:30~16:00	コーヒーブレイク		
5/16 (木)	16:00~18:00	X 2 (6 A会場) パネル「将来の並列処理のあるべき姿—今なにをすべきか」 モデレータ林 (富士通研)		
	9:00~10:30	Arch-7 (7 A会場) マルチプロセッサ・I 座長 服部 (富士通研)	App-3 (7 B会場) 人工知能&データベース 座長 松本(裕) (京大)	Sys-3 (7 C会場) 並列化コンパイラ 座長 安村 (慶大)
	10:30~11:00	コーヒーブレイク		
	11:00~12:30	Arch-8 (8 A会場) マルチプロセッサ・II 座長 馬場 (宇都宮大)	Bas-2 (8 B会場) アルゴリズム 座長 萩原 (阪大)	Sys-4 (8 C会場) 並列 OS 座長 益田 (東大)

## [プログラム]

5月14日(火)

13:20~13:30 開会の辞

【0 A会場】 実行委員長挨拶

米澤 明憲(東大)

13:30~15:00 招待講演

【1 A会場】 X1: 招待講演

司会 村岡 洋一(早大)

「並列処理コンパイラのアルゴリズム」

Constantine Polychronopoulos (Center for Supercomputing R&amp;D, Univ. of Illinois)

「並列処理コンパイラとメモリ管理」

Dennis Gannon (Indiana Univ.)

15:30~17:30 セッション: Arch-1, App-1, Neuro

【2 A会場】 Arch-1: データベース&amp;メモリ

座長 田中 英彦(東大)

A Scheduling-Based Cache Coherence Scheme

武末 勝(NTT)

ネットワーク結合型並列計算機上の仮想共有メモリシステムにおける

無矛盾プロトコルの性能評価とハードウェアによる実現

中條 拓伯(神戸大), Newton K. Miura, 和田 耕一(筑波大), 金田悠紀夫(神戸大)

スーパーデータ ベースコンピュータ (SDC) におけるモジュール群制御方式と

2 モジュール SDC の試作・評価

平野 聡(東大)

SIMD 型並列プロセッサを用いたフルテキスト検索システム

宮原 末治, 近藤 利夫, 多田 俊吉(NTT)

【2 B会場】 App-1: 数値処理

座長 小柳 義夫(筑波大)

分散メモリ型計算機 PAX におけるガウスの消去法

高橋 公夫(筑波大)

超並列計算機向き行列解法アルゴリズムの検討

猪貝 光祥(日立超 LSI エンジニアリング),

大河内俊夫, 金野 千里(日立)

分子動力学計算プログラム AMBER の並列化

佐藤 弘幸(富士通研)

非線形 MHD 型プラズマシミュレータの並列処理

松下 智, 小池 誠彦(日電), 鳴澤 勝(日本電気技術情報システム開発),

栗田 源一, 常松 俊秀, 竹田 辰興(日本原子力研究所)

【2 C会場】 Neuro: 超並列近似計算モデル

座長 小池 誠彦(日電)

ニューラルネットワークによるファジィ 0-1 組合せ最適化

三谷 徹, 坂和 正敏(広島大)

ホップフィールド型ニューラルネットにおける制約の動的な制御の効果

秋山 泰, 古谷 立美(電総研)

Adaptive Junction ネットワークにおける連鎖反応

味岡 義明, 安西祐一郎(慶大)

GA による連想記憶モデルの引込み領域表現

鈴木 恵二, 嘉数 脩昇(北大)

18:00~20:00

【ポートピアホテル】 懇親会

会場より徒歩2分

5月15日(水)

9:00~10:30 セッション: Arch-2, Arch-3, Sys-1

【3 A会場】 Arch-2: 並列推論マシン

座長 弓場 敏嗣(電総研)

PIE 64 の並列処理管理カーネルのアーキテクチャ

日高 康雄, 小池 汎平, 田中 英彦(東大)

並列推論マシン PIM/i の命令レベル並列性の評価

大原 輝彦, 武田 浩一, 佐藤 正俊(沖電気)

推論プロセッサ UNIREN II : シミュレーションによる評価

島田健太郎, 小池 汎平, 田中 英彦(東大)

【3 B会場】 Arch-3: 専用マシン

座長 西澤 貞次(松下電器)

画像論理代数 (ILA) とその光学的構成法

福井 将樹, 北山 研一(NTT)

『順風』: ストリーム FIFO 方式に基づくシングルチップ・ベクトルプロセッサ・プロトタイプ

一マクロ演算, ベクトル・スカラ協調処理およびベクトル命令停止機能の評価一

橋本 隆, 岡崎 恵三, 弘中 哲夫, 村上 和彰, 富田 眞治(九大)

『熱視線』: 視線探索法を高速処理する専用並列レンダリング・マシン

一マクロパイプラインの各ステージにおける命令レベル並列処理一

村田 誠治, 権 五鳳, 村上 和彰, 富田 眞治(九大)

【3 C会場】 Sys-1: 並列言語

座長 柴山 悦哉(龍谷大)

A'UM-90 のストリーム通信の分散実装方式

小西 弘一, 丸山 勉, 小長谷明彦 (日電),  
吉田かおる, 近山 隆 (ICOT)  
吉田 実, 田中 英彦 (東大)

並列オブジェクト指向言語におけるオブジェクト内並列性

並列理論型言語 Fleng のマルチウィンドウデバッガ Hyper DEBU

館村 純一, 小池 汎平, 田中 英彦 (東大)

11:00~12:30 セッション: Arch-4, App-2, Bas-1

【4 A会場】 Arch-4: スーパースカラアーキテクチャ

座長 長島 重夫 (日立)

パイプライン計算機における基本ブロック間並列処理アーキテクチャ

丸島 敏一, 西 直樹 (日電),

大沢 謙二, 中崎 良成 (日本電気技術情報システム開発)

DSN 型スーパースカラ・プロセッサ・プロトタイプ

ーアーキテクチャおよび静的コード・スケジューリングに関する総合評価ー

納富 昭, 原 哲夫, 久我 守弘, 村上 和彰, 富田 眞治 (九大)

ハイパースカラ・プロセッサ・アーキテクチャ

ー命令レベル並列処理への第5のアプローチー

村上 和彰 (九大)

【4 B会場】 App-2: LSI 用 CAD

座長 山口 喜教 (電総研)

パーチャルタイムによる並列論理シミュレーション

松本 幸則, 瀧 和男 (ICOT)

超並列配線マシン MAPLE-RP

河村 薫, 進藤 達也, 渋谷 利行, 三度 秀樹, 大木 由江, 土肥 実久 (富士通研)

並列オブジェクトモデルに基づく LSI 配線プログラム

大嶽 能久, 伊達 博, 瀧 和男 (ICOT)

【4 C会場】 Bas-1: 並列計算モデル

座長 曾和 将容 (名工大)

MIMD 型並列計算機システムを指向したメッセージフロー型並列計算モデル

藤井 啓明, 柴山 潔 (京大)

Hybrid Group Reflection in OOC

松岡 聡, 渡辺 卓雄, 米澤 明憲 (東大)

Towards Realistic Type Inference for Guarded Horn Clauses

申 東旭 (富士通・国際研)

14:00~15:30 セッション: Arch-5, Arch-6, Sys-2

【5 A会場】 Arch-5: データフローマシン

座長 富田 眞治 (九大)

EM-4 における並列性能評価

児玉 佑悦, 坂井 修一, 山口 喜教 (電総研)

超並列計算機 EM-5 (16 K 台版) の方式設計

坂井 修一, 児玉 佑悦, 山口 喜教 (電総研)

並列処理システムー晴一における大域記憶へのアクセス競合緩和手法

山名 早人, 大段 智志, 村岡 洋一 (早大)

【5 B会場】 Arch-6: 相互結合網

座長 金田悠紀夫 (神戸大)

書換え可能な LSI による可変構造型相互結合網の実現法

末吉 敏則, 杷野 公平, 有田五次郎 (九工大)

統合型並列化コンパイラ・システムーネットワーク・シンセサイザー

赤星 博輝, 村上 和彰, 福田 晃, 富田 眞治 (九大)

base-m n-cube の実現方式に関する評価

川倉 康嗣, 田辺 昇, 鈴岡 節 (東芝)

【5 C会場】 Sys-2: 並列システムと評価

座長 雨宮 真人 (九大)

信号処理用並列ストリーム言語 VISDAL におけるスパースアレイについて

森 洋久, 加藤 和彦, 高田 広章 (東大)

細粒度並列実行を支援する種々の静的順序制御方式の定量的評価

高木 浩光, 有田 隆也, 曾和 将容 (名工大)

共有メモリマルチプロセッサにおけるガーベッジコレクションの並列実行と評価

今井 明 (ICOT), Evan Tick (Univ. of Oregon), 中島 克人 (三菱), 後藤 厚宏 (NTT)

16:00~18:00 パネル討論

【6 A会場】 X 2: パネル討論

モデレータ 林 弘 (富士通研)

「将来の並列処理のあるべき姿ー今なにをすべきか」

パネリスト 平木 敬 (電総研), 笠原 博徳 (早大),  
瀧 和男 (ICOT), 石川 裕 (電総研)

5月16日(木)

9:00~10:30 セッション: Arch-7, App-2, Sys-3

【7A会場】 Arch-7: マルチプロセッサ・I

座長 服部 彰(富士通研)

A-NET 計算機のノードプロセッサとその実行方式

吉永 努, 鈴木 充, 寺岡 孝司, 茂木 久, 馬場 敬信(宇都宮大)

分散メモリ型と共有メモリ型マルチプロセッサによる並列配線処理の性能比較

佐野 雅彦, 高橋 義造(徳島大)

並列計算機テストベッド ATTEMPT の通信機構の評価

鳥居 淳, 天野 英晴(慶大)

【7B会場】 App-3: 人工知能&amp;データベース

座長 松本 裕治(京大)

SCMP システムでの OLTP 向け DBMS 並列処理

林 克己, 斎藤 一彦, 林 知博, 三谷 政昭, 大里 博志,

小幡 孝司, 関根 裕, 石井 卓二(富士通)

Parallel Dynamic Map Construction and Route Planning in Real-Time

for Autonomous Robots

Martin Nilsson (Swedish Institute of Computer Science)

非均質システム NueLinda 上での ATMS の並列処理の検討

奥乃 博(NTT), 明石 修, 村上健一郎, 天海 良治(NTT)

【7C会場】 Sys-3: 並列化コンパイラ

座長 安村 通晃(慶大)

並列処理システム一晴一におけるプロトタイプ FORTRAN コンパイラ

安江 俊明, 神舘 淳, 山名 早人, 村岡 洋一(早大)

並列計算機 ADENA 用の自動並列化コンパイラ: APARC

材木 幸治, 黒田 茂, 他(松下電器)

DISTRAN システムの並列計算機上への実装

鈴木 清弘, 山崎 信行, 弓場 敬夫, 村田 香, 朴 泰佑(慶大)

11:00~12:30 セッション: Arch-8, Bas-2, Sys-4

【8A会場】 Arch-8: マルチプロセッサ・II

座長 馬場 敬信(宇都宮大)

CAM を利用した機能メモリ型並列プロセッサ FMPP とその応用

安浦 寛人, 渡部 章弘, 左達 隆吾, 田丸 啓吉(京大)

発注/受領型並列計算機の制御機構とハードウェア

富澤 眞樹(農工大)

可変構造型並列計算機—プロセッシング・エレメントの設計—

徳永 尚哉, 上野 智生, 岩田 英次, 甲斐 康司, 森 眞一郎,

村上 和彰, 福田 晃, 富田 眞治(九大)

【8B会場】 Bas-2: アルゴリズム

座長 萩原 兼一(阪大)

WTC 方式を用いた分散プロセス制御方式

六沢 一昭(沖電気), 市吉 伸行(ICOT)

多重バスを有する線形アレイプロセッサ上の最小m要素ソート問題

藤田 聡, 山下 雅史, 阿江 忠(広島大)

メッシュバス計算機上でのソーティング及び라우ティングに要する時間の上下限

岩間 一雄, 宮野 英次(九大), 上林 弥彦(京大)

【8C会場】 Sys-4: 並列 OS

座長 益田 隆司(東大)

並列アルゴリズム評価用テストベッド OS の提案と実装

矢向 高弘, 安西祐一郎(慶大)

プロセス・ネットワークによる OS 内部の並列実行

中山 泰一, 田胡 和哉, 森下 厳(東大)

メッセージ通信によるトランザクション処理の並列化

横田 治夫, 野口 泰生, 武 理一郎(富士通研)

「並列処理シンポジウム JSPP '91」

参 加 申 込 書

平成 年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 25,000 円 非会員 30,000 円 学生（含大学院生）10,000 円

＊共催／協賛会員は正会員として扱います。下記氏名欄の後ろに学会名も合わせてご記入願います。

＊参加費には、資料代、懇親会費が含まれています。

○論文集のみ（5,000 円、送料込） _____冊

○送金方法

＊ _____円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) _____月 _____日送金します。

＊（b を選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

（社）情報処理学会シンポジウム（JSPP '91）係 Tel. 03 (3505) 0505)

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 _____銀行宛

・送金取扱銀行名 _____銀行 _____支店より

・送金人名義 _____様

＊請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 _____

機関・  
部課名 _____

フリ ガナ 学会名  
氏 名 _____ 殿 ( _____ )

Tel. _____ (ex. _____) Fax. _____

E-mail _____

1991 年 月 日

## 第6回「コンピュータ通信ワークショップ」参加申込書

(JWCC-6: Joint Workshop on Computer Communications)

標記ワークショップの参加を下記のように申込みます。

(必要事項を記入し、該当する□に印をつけてください。)

申込者 氏 名 (和文) _____  
 (英文) _____  
 所 属 (和文) _____  
 (英文) _____  
 連絡先住所 (和文) 〒 _____  
 (英文) _____  
 Tel. _____  
 Fax. _____  
 E-mail. _____

参加費 ☐ (一般) 会議参加及び宿泊 (17 日, 18 日) 50,000 円  
☐ (一般) 会議参加 35,000 円  
☐ (学生) 会議参加及び宿泊 (17 日, 18 日) 35,000 円  
☐ (学生) 会議参加 10,000 円

宿 泊 北九州プリンスホテル  
 Tel. 093-631-1111 Fax. 093-631-1148  
 7 月 17 日, 18 日以外宿泊希望の方は、直接ホテルにご連絡ください。

支払い方法 ☐ 当日持参します。  
☐ ____月 ____日に、次の方法で送金します。  
 送金方法 (該当する方法にレ印をつけてください。)  
☐ 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
 (社)情報処理学会シンポジウム係)

☐ 銀行振込

振込先 (いずれも普通預金口座)

<input type="checkbox"/> 第一勧銀虎ノ門支店 1013945	<input type="checkbox"/> 富士銀行虎ノ門支店 993632
<input type="checkbox"/> 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	<input type="checkbox"/> 太陽神戸三井銀行東京営業部 4298739
<input type="checkbox"/> 住友銀行東京公務部 10899	<input type="checkbox"/> 三和銀行東京公務部 21409

口座名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

送金元 _____ 銀行 _____ 支店

送金人名義 _____ 様

請求書類の必要な方は、お申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

請求先 _____

注) 申込書は、1 枚 1 人でお願いします。

(必要に応じてこの用紙をコピーしてお使いください。)

申込書送り先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 情報処理学会 シンポジウム係

申込締切

6 月 15 日までに申込みください。これ以降に申し込まれた場合は、ホテルの部屋が確保できないことがあります。

## 「知識のリフォーメーションシンポジウム—知識表現と学習の新方向—」 シンポジウム論文募集

「人工知能研究会」では、「知識のリフォーメーションシンポジウム—知識表現と学習の新方向」を開催いたします。知識表現と学習はともに人工知能における中心的な研究テーマですが、近年になって両者を統合する新しい流れが起こっています。ここではその流れのことを、知識の効率的な表現・利用のための変化を計算機自らに行わせることを目指しているという意味で、「知識のリフォーメーション」と名付けました。本シンポジウムでは、知識のマクロ化・チャック化、知識表現の変換、遺伝アルゴリズム、事例に基づく推論、コネクショニズムなどのさまざまな研究をとおして、知識のリフォーメーションにおける問題点と将来の展望を明らかにすることを目的としています。そのため、知識表現と学習の両方にまたがるこれらの研究を中心に論文を募集します。奮って論文をお寄せください。

**日時** 平成3年11月27日(水)～28日(木) 9:00～17:00  
**場所** 東京大学山上会館大会議室  
**主催** 情報処理学会人工知能研究会  
**協賛** 人工知能学会、電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会(予定)  
**トピックス** (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)。

- 知識のマクロ化・チャック化
- 知識のコンパイレーション
- 知識表現の変換
- 遺伝アルゴリズム
- 事例に基づく推論, 記憶に基づく推論
- 演繹学習
- 帰納学習
- 類推
- ニューラル・ネットワークとの融合
- 説明に基づく学習
- マルチパラダイム学習
- 知識ベースの獲得・管理と再構成

- 実施方法**
- (1) 発表論文については、審査制とする。
  - (2) 応募論文は、アブストラクトを含めるものとし、和文(A4判で10枚以内)または英文(A4判ダブルスペースで10枚以内)とする。ただし、英文論文には、別に和文アブストラクトを添付のこと。
  - (3) スケジュールは次のとおりとする。
    - 論文締切7月31日(水)
    - 受理通知8月31日(土)
    - 最終論文10月19日(土)

応募される方は、論文3部を下記へご送付ください。

**送付先** 情報処理学会「知識のリフォーメーション」シンポジウム係  
 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
 Tel. 03 (3505) 0505, Fax 03 (3584) 7925

**問合せ先** 211 神奈川県川崎市中原区上小田中 1015  
 富士通研究所 人工知能研究部 第一研究室  
 吉田裕之 Email: yuki@flab.fujitsu.co.jp  
 Tel. 044 (754) 2661, Fax. 044 (754) 2664

## 平成3年度会費等の納入について（お詫び）

去る2月上旬に平成3年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納付書（郵便振替用紙）をお送りいたしました。納付書の年度欄に「03」と表示すべきところ誤って「02」と表示し、会員の皆さまにご迷惑をかけまして誠に申し訳ありませんでした。謹んでお詫び申し上げます。

つきましては、年度欄表示にかかわらず平成3年度会費として処理できるよう措置いたしましたので、同振替用紙にてご納入くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

## 新年度にあたって（お願い）

### ——会費・購読費の請求、新会員勧誘など——

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきご確認いただき、あわせてご協力のほどお願いいたします。

#### （1）平成3年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

2月上旬に会員個々に納付書（郵便振替用紙）を送付いたしました。年度欄の表示に誤りがありご迷惑をかけましたことをお詫び申し上げます。なお、未納の方は早急にご納入ください。また、預金口座振替の会員は**3月27日（水）**に自動振替いたしますので、ご留意ください。

なお、平成4年度会費から預金口座自動振替を希望する会員（正会員に限る）は、所定の**預金口座振替依頼書**（学会会員係へお問合せください）によりお申込みください。

#### （2）大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年3月に大学学部卒業予定の学生会員には、平成3年度会費は正会員（9,600円）として請求いたしました。大学院修士課程に進まれた方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名、修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

#### （3）退 会

書面（様式任意、はがき可）にてお申出ください。なお、2年度会費が未納の場合には、昨年4月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

また、2年度会費未納者には、これまで再三にわたり請求いたしております。納付いただけない場合には、本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

#### （4）学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（4月号、10月号に添付）にて会員番号を付し、早速にご連絡ください。

#### （5）論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は2月号本欄に添付の申込書を使用して、お申込みください。

### 新入会員勧誘のお願い

3月は入会に絶好のチャンスです。本号末尾綴込みの入会申込書（B5判）で、入会をご勧誘ください。なお、入会申込書の形式を変更しましたので、旧の入会申込書（A4判）は使用しないでください。



## 海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されているが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500～2,500 円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは「VISA」および「Master Card」により円立で送金できるようにしましたが、このたび「American Express」と「Diner's Club」を追加したのでお知らせします。なお、申込書様式は次のとおりとしますが、A 4 判用紙を用い必ず郵送してください (Fax は不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN

Hoshina Bldg., 2-4-2 Azabudai, Minato-ku

Tokyo 106, Japan

Phone : 81-3-3505-0505 Fax : 81-3-3584-7925

I wish to pay with my credit card. ☐

Circle one:            Master Card            VISA            American Express            Diner's Club

(1) Card number _____

(2) Expiry date _____ / _____

(3) Full name of holder as it appears on the card _____

(4) Amount _____ Japanese Yen

(5) Details (annual fees, journal, etc.) _____

_____

(6) Mailing address

_____ (Country) _____

Phone _____

Fax _____

Date _____

Signature _____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥ 1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to: Information Processing Society of Japan

Bank account no. 046-1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

## 「学協会共通問題に関するパネル討論会」の開催について

標記パネル討論会が日本工学会の主催により開催されます。下記の要領により実施しますので、興味のある会員は奮ってご参加ください。

**日 時** 平成3年4月22日(月) 13:30~16:40

**会 場** 新橋住友ビル(東京都港区新橋 5-11-3, JR 新橋駅烏森口下車徒歩5分)

### プログラム

13:30~13:40 挨拶 尾佐竹 洵(日本工学会会長)

13:40~15:40 科学技術の国際化と学協会

〔話題提供〕 内田 盛也(日本工学会政策委員会委員長, 帝人常務理事)

〔パネラー〕 一折衝中一

上林 弥彦(情報処理学会, 同会国際担当事務, 京都大学教授, 高度情報開発実験施設)

島田 仁(日本鉄鋼協会, 同会専務理事)

未 定(日本機械学会)

松本順一郎(土木学会, 日本工学会理事, 日本大学教授)

佐々木 元(電子情報通信学会, 同会総務理事, 日本工学会理事, 日本電気取締役支配人)

山本 明夫(日本化学会, 同会元副会長, 早稲田大学教授)

16:00~16:40 科学技術と国際化

〔話題提供〕 佐波 正一(経団連副会長, 東芝相談役)

**参 加 費** 1,000 円(当日ご持参ください)

**申込方法** 電話, FAX またははがきにて下記までお申込ください。その際, 氏名, 年令, 勤務先, 所属学協会名を必ず記入またはお知らせください。

**申 込 先** 107 東京都港区赤坂 9-6-41 (社)日本工学会 Tel. 03 (3475) 4621, FAX 03 (3403) 1738

## 学協会著作権協議会「著作権集中処理システム」発足について

かねて著作権の集中処理をめざす学協会による組織として, 日本工学会(当学会を含め71学協会が加盟), 日本歯科医学会, 日本農学会, 日本薬学会(日本医学会は交渉中)は, 学協会著作権協議会を設立し, その運営について協議してまいりました。そして平成2年12月20日に開催されました第3回総会において, その事務処理を担当する標記著作権集中処理システム(以下標記システムという)の発足をいたしました。

標記システムは, 会員団体加盟学協会及び関連学協会から著作権(当面は複写権)の委託を受け, 一方, 学協会出版物をコピーしようとする利用者とは利用契約を結び, 著作権使用料を納めていただき, これを学協会に分配するための事務機構です。

ご存じのように, 各国著作権法では, 出版物からのコピーは, 図書館での利用等一部を除き, 著作権者の許可が必要とされており, 著作者の許可を集中的に処理するためドイツ, アメリカ合衆国を始め18ヵ国では集中的処理機構が設立され, 活動をしております。そして, 先進諸國中, 日本だけそのような機構ができておりませんでした。今回標記システムの発足により, 当面コピー量が多いといわれている学協会出版物について権利の集中処理ができるようになりました。

標記システムは, 学協会著作権の集中処理を通じ, 著作者の権利を守り, 学協会の出版活動にも貢献し, かつ国際的な役割をも果たすことを期しております。しかし, 未だ発足したばかりであり, 今後の発展には, 広く学協会会員各位のご理解が不可欠であります。何卒, 標記システムの趣旨をご理解くださり, ご協力くださるようお願いいたします。

## 支 部 だ よ り

### 北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '91—Info-Hokkaido '91

日 時 平成3年4月26日(金) 9:00~17:00

会 場 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

特別講演 13:00~14:30(聴講自由, 聴講無料)

演 題 北海道大学医学部附属病院における医療情報システム

入江 五朗(北大)

チュートリアル 9:00~12:00

内 容 UNIX ネットワークの管理とプログラミング

三谷 和史(北大)

参加費 情報処理学会会員及び賛助会員 3,000円, 一般 5,000円, 学生(大学院生を含む) 1,500円

参加費は当日会場受付で支払うこと。

申込方法 電話又は官製はがきで, 住所, 氏名, 電話番号, 所属学会, 勤務先又は大学名・学科・学年を下記の事務局まで連絡すること。申込みは, 開催日の1週間前まで。定員(30名)になり次第締切り。

一般講演 9:00~12:00, 14:30~17:00(聴講自由, 聴講無料)

講演内容 情報処理に関する最近行った研究及び調査の報告, 新しい企画及び開発の報告, 新製品(ソフトウェア, ハードウェア, システム)の紹介など。

問合せ先 060 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内 情報処理学会北海道支部

Tel. 011 (716) 2111 (内 6819)

## 情報処理学会欧文誌 Journal of Information Processing

### 特集 グラフィクス 論文募集

欧文誌編集委員会

グラフィクスの研究開発の環境は, 最近のワークステーションの普及と高性能化にともない急速に変化してきています。これに伴って, ユーザインタフェースとしてのグラフィクスの役割はますます重要なものとなり, その応用分野が広がってきています。その欧文誌(JIP)において「特集グラフィクス」を平成4年6月を目標に発行することになりました。このテーマに関する論文を募集しますので, 奮ってご寄稿ください。

#### 1. 対象分野

(主要なテーマは以下のとおりですが, 必ずしもこれに限りません)

- グラフィクスの基礎: 表示技術, リアリズムの追及, グラフィクス入力, データ構造とデータベース, マンマシンインタラクション

- グラフィクスシステム: グラフィクス言語とソフトウェア, グラフィクスデバイスとワークステーション, 標準化

- グラフィクスの応用: アニメーションとアート, ビジネスグラフィクス, 文書や画像の処理, CAD, 応用事例

#### 2. 執筆要綱

最初のページに「特集グラフィクス」と朱記してください。この他の執筆要綱は通常の論文と同じです。各JIPの末尾に掲載されている「Information for Authors」を参照してください。

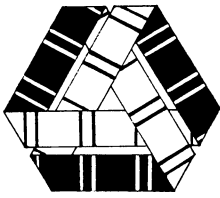
#### 3. 締 切 日

平成3年9月30日(月) 必着

#### 4. そ の 他

この特集号ではカラー印刷の使用可能です。詳細は学会事務局までお問い合わせください。

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（＊：本年既掲載分，＊＊：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

### 国際会議

#### Transputing 1991

(*004)

1. April 22-26, 1991
2. Santa Clara, California
3. 東京大学理学部情報科学科 國井 利泰  
Tel. 03 (3816) 1783

#### ALT '91—計算論的学习理論ワークショップ (014)

1. 1991 年 10 月 23 日 (水)～25 日 (金)
2. CSK 情報教育センター (東京都多摩市)
3. 主催: (社)人工知能学会  
論文送付先: 九州工業大学 情報工学部 篠原 武  
Tel. 0948 (29) 7621
4. 論文締切: 1991 年 5 月 13 日 (月)

#### 2nd Ann. Int'l. Symposium on Algorithms

(015)

1. December 16-18, 1991
2. Academia Sinica, Taipei, Taiwan
3. 東北大学工学部情報工学科 西関 隆夫  
Tel. 022 (222) 1800 (内 4289)  
論文送付先: Dr. W. L. Hsu, Academia Sinica,  
Taipei, Taiwan 115
4. 論文締切: 1991 年 5 月 15 日 (水)

#### INDC—92—Information Networks and Data Communication (016)

1. March 16-19, 1992
2. Finland
3. 主催: IFIP  
問合せ先: INDC-92 Conference Secretariat c/o Kyl.  
likki Kari Finnish Information Processing  
Association Tulkinkuja 3 SF-02600 ESPOO,  
Finland
4. 論文締切: June 15, 1991

### 国内会議

#### 第 43 回 産業用ロボット利用技術講習会

1. 2. 東京: 1991 年 3 月 19 日 (火)～20 日 (水)  
(社)日本電機工業会  
大阪: 1991 年 3 月 28 日 (木)～29 日 (金)  
大阪府社会福祉会館

3. (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. 03 (3434) 2919
4. 参加料: 会員 23,000 円, 一般 26,000 円

#### 第 12 回 計算電気・電子工学シンポジウム

1. 平成 3 年 3 月 22 日 (金)～23 日 (土)
2. (財)日本科学技術連盟 (東京都渋谷区千駄ヶ谷)
3. 日本シミュレーション学会 Tel. 03 (5379) 1236
4. 参加費: 会員 8,000 円, 一般 10,000 円, 学生 2,000 円

#### 第 4 回「学協会共通問題に関するパネル討論会」

1. 1991 年 4 月 22 日 (月)
2. 新橋住友ビル (東京都港区)
3. (社)日本工学会 Tel. 03 (3475) 4621
4. 話題提供: 内田 盛也, 佐波 正一  
パネラー: 上林 弥彦, 他  
参加費: 1,000 円

#### 第 12 回 Japan SIGAda

1. 1991 年 4 月 24 日 (水)
2. 住友商事 (東京都千代田区神田錦町)
3. Japan SIGAda 運営委員会 田中 清  
Tel. 03 (3740) 5719
4. 参加資格: Japan SIGAda 会員 現在約 495 名, 受付中

#### 第 49 回 イブニングセミナー「設計美学による機械設計法」

1. 平成 3 年 5 月 10 日, 17 日, 24 日, 31 日, 6 月 7 日, 14 日, 21 日, 28 日 (毎週金曜日)
2. (社)日本機械学会 (東京都渋谷区代々木), 他
3. (社)日本機械学会 Tel. 03 (3379) 6781
4. 聴講料: 会員 30,000 円, 非会員 54,000 円

#### 第 12 回 国際会議のための準備セミナー

1. 1991 年 5 月 18 日 (土)～19 日 (日)
2. 海外職業訓練センター (千葉県ひび野)
3. (社)日本工学会 Tel. 03 (3475) 4621  
FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費: 80,000 円

#### '91 新素材展併設 ユーザー・メーカー交流フォーラム

1. 1991 年 5 月 28 日 (火)～31 日 (金)
2. 幕張プリンスホテル
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部 '91 新素材展事務局  
Tel. 03 (5255) 2131
4. 受講料: 15,000 円 (1 日)

#### '91 新素材展併設 総合シンポジウム

1. 1991 年 5 月 29 日 (水)～31 日 (金)
2. 幕張プリンスホテル
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部 '91 新素材展事務局  
Tel. 03 (5255) 2131
4. 受講料: 7,000 円 (1 セッション)

#### システム制御情報チュートリアル講座「制御工学へのガイド・ライン」—不確かさへの挑戦とロバスト制御の実際—

1. 1991 年 6 月 5 日 (水), 6 日 (木), 7 日 (金), 12 日 (水), 13 日 (木)
2. 日本青年館 (東京都新宿区霞丘町)
3. システム制御情報学会 チュートリアル講座係  
Tel. 075 (751) 6413
4. 聴講料: 会員 45,000 円, 学生 20,000 円, 非会員 60,000 円 (全日), 会員 13,000 円, 学生 6,000 円, 非会員 18,000 円 (1 日のみ)

### 第3回 公開シンポジウム「医療における画像ファイルシステム」

1. 1991年6月6日(木)～7日(金)
2. 社会文化会館(東京都千代田区永田町)
3. 主催: 応用物理学会, 医療情報システム開発センター  
問合せ先: (財)日本学会事務センター 学術講演会開催  
業務部門 シンポジウム事務局 Tel. 03 (3817) 5831
4. 参加費: 会員 11,000 円, 非会員 13,000 円

### Computer Graphics Osaka '91

1. 1991年6月12日(水)～15日(土)
2. マイドームおおさか, 他
3. (社)日本能率協会 関西事業本部 Tel. 06 (261) 7151
4. 展示会入場料: 1,500 円

### 第2回 イメージテック '91

1. 1991年6月12日(水)～15日(土)
2. 国際見本市会館(大阪府中央区本町橋)
3. (社)日本能率協会 関西事業本部 Tel. 06 (261) 7151
4. 入場料: 1,500 円

### The Logic Programming Conf. '91

1. 1991年7月8日(月)～11日(木)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. (財)新世代コンピュータ技術開発機構 LPC '91 事務局  
Tel. 03 (3456) 2514
4. 論文締切: 1991年4月15日(月)

### 第3回 ロボティクス・自動化システムシンポジウム

1. 平成3年9月12日(木)～13日(金)
2. 中央大学
3. (社)計測自動制御学会 Tel. 03 (3814) 4121
4. 発表申込締切: 平成3年4月30日(火)  
参加費: 登壇者 8,000 円・10,000 円, 会員 7,000 円, 非  
会員 8,000 円, 学生 2,000 円

### 第34回 自動制御連合講演会

1. 平成3年11月20日(水)～22日(金)
2. 慶応義塾大学日吉校舎(横浜市港北区)
3. (社)計測自動制御学会 Tel. 03 (3814) 4121

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

#### 千葉大学教養部情報科学教室

- 募集人員 教授 1 名  
専門分野 情報科学  
担当科目 総合科目(情報科学), セミナー  
応募資格 大学院博士課程修了またはそれに準ずる方で年齢  
40 歳以上(3 年 4 月 1 日現在)  
応募締切 平成 3 年 4 月 10 日  
採用予定 平成 3 年 10 月 1 日  
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要研究業績 3 点(別  
刷, 複写可), 研究業績の要約と今後の研究計画の  
概要(2000 字以内), 健康診断書(国公立病院また  
は保健所発行).  
送付先 260 千葉市弥生町 1 番 33 号  
千葉大学教養部庶務係付  
情報科学教官選考委員会(あて)  
「応募書類在中」と朱書き, 書留.  
問合せ先 千葉大学教養部情報科学教室 松元亮治  
Tel. 0472 (51) 1111 (内 2297)

#### 高エネルギー物理学研究所

- 募集人員 データ処理センター助手 1 名(任期なし)  
業務内容 本研究データ処理センターの計算機システムの  
運用に携わりつつ, 研究等に従事する.  
分散処理システムの構築とその応用, 大規模  
データベースの研究, 新しい計算機機構の研究  
開発など  
応募資格 大学院修士課程相当以上の学歴または経験のあ  
る方  
採用予定 決定後できるだけ早い時期

- 応募締切 平成 3 年 5 月 10 日  
提出書類 履歴書, 研究歴, 発表論文リスト, 論文別刷, 本  
人に関する推薦書または参考意見書(2 名以上, 健  
康に関する所見を含む.)  
選考方法 原則として面接選考とする.  
送付先 305 つくば市大穂 1 番地 1  
高エネルギー物理学研究所長 菅原寛孝  
問合せ先 センター総括主幹 平林洋美  
Tel. 0298 (64) 1171 (内 3401)  
「応募書類在中」と朱書き, 書留.

#### 山口大学教養部

- 募集人員 教授 1 名  
専門分野 情報科学(広い意味での情報科学を含む)  
担当科目 総合科目(情報環境論)  
電算機概論および総合コース  
応募資格 58 歳前後で電算機概論の講義と総合コースの  
マネジメントが可能な方  
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 著書及び発表文献の別  
刷またはコピー, 研究業績の要約, 情報科学教育  
に関する抱負 2000 字程度, 本人の業績等につい  
て, 照会に応じられる方の氏名  
採用予定 平成 3 年 10 月 1 日または平成 4 年 4 月 1 日  
応募締切 平成 3 年 5 月 17 日  
送付先 753 山口市大字吉田 1677-1  
問合せ先 山口大学教養部長 西岡道夫  
「応募書類在中」と朱書き, 書留.  
Tel. 0839 (22) 6111 (内 503)

#### (県立)神戸商科大学商経学部

- 募集人員 助手 1 名  
専門分野 経営情報または情報科学  
応募資格 28 歳以下で採用予定時期に修士課程修了以上  
採用予定 平成 3 年 10 月 1 日  
応募締切 平成 3 年 5 月 20 日  
提出書類 履歴書, 推薦書, 研究業績一覧, 主要論文別刷ま  
たはその写し, これまでの研究の概要と今後の研  
究計画, 修了(修了見込み)証明書.  
送付先 651-21 神戸市西区学園西町 8-2-1  
神戸商科大学管理科学科長  
「応募書類在中」と朱書き, 書留.

問合せ先 神戸商科大学管理科学科 木庭 淳  
Tel. 078 (794) 6161, EX. 4419,  
FAX. 078 (794) 6166

#### 九州工業大学マイクロ化総合技術センター

募集人員 助教授1名および助手1名  
専門分野 LSI 設計または LSI 製造プロセス  
助教授はその分野の経験が必要とするが、助手については必ずしも経験を必要としない。LSI の教育・研究に情熱を有する開拓者精神の旺盛な方  
応募資格 助教授：博士の学位を有する者、助手：博士または修士の学位を有する者、もしくはそれに準ずる者（配属：LSI 設計技術室）、国籍は不問。ただし日本語ができること。  
応募締切 平成3年6月29日  
採用予定 決定後、できるだけ早い時期  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、発表論文別刷（5編以内）、推薦状（あれば1通以上）、現在の研究内容または業務内容、今後の教育・研究に関する抱負（800字程度）、希望職種（助教授または助手の別）および着任希望時期。  
送付先 820 飯塚市川津 680-4  
九州工業大学マイクロ化総合技術センター事務局  
「応募書類在中」と朱書き、書留。  
問合せ先 九州工業大学情報工学部電子情報工学教室  
宮里達郎 Tel. 0948 (29) 7661 または、7585

#### 岐阜大学工学部電子情報工学科

募集人員 助手1名  
所属大講座 知識工学講座  
専門分野 人工知能・知識工学、自然言語システム、画像システム、音声システム、生体情報システム（ニューロコンピュータを含む）、医療情報工学、計算機ネットワークシステム、並列処理システム、曖昧システム（ファジィ・コンピュータを含む）、応用情報数理、知的 CAI、情報機器（VLSI を含む）などのいずれかに関する基礎、あるいは応用分野。  
担当科目 電子・情報工学関連科目の演習、電子情報工学実験などの一部の科目。  
応募資格 博士の学位を有するか、あるいは取得見込みの方（博士後期課程在学中の院生を含む）が望ましい。平成4年4月1日までのできるだけ早い時期に着任可能な方。  
応募締切 平成3年9月30日  
提出書類 履歴書、業績一覧表（論文、著書、開発システム、特許など）、主要論文別刷、健康診断書  
送付先 501-11 岐阜市柳戸1番1  
問合せ先 岐阜大学工学部電子情報工学科  
情報コース主任 小鹿丈夫  
Tel. 0582 (30) 1111 (内4505)  
「応募書類在中」と朱書き、書留。

## 雑 報



### ○平成3年度科学技術特別研究員募集

応募資格 原則として本年10月1日現在35歳未満で博士号取得または同等の研究能力を有すると認められる者。  
採用予定 50名。  
採用形態 非常勤職員として本年10月1日から任用、通算3年間を限度として年度毎に評価、更新。  
研究費 年間130～150万円程度支給（人件費、通勤費も支給）。  
受入機関 全国約80の国立試験研究機関。  
募集締切 平成3年6月1日（土）必着  
問合せ先 100 東京都千代田区霞が関 2-2-1  
科学技術庁 科学技術振興局研究振興課  
Tel. 03 (3581) 5271 (内531), 03 (3503) 0013 (直)

### ○国際機関職員募集

#### 1991年国連職員採用競争試験

対象分野 情報処理、社会開発、統計等の6分野。  
応募資格 日本国籍で本年12月31日現在32歳以下、上記のいずれかの分野で学士号以上の学位を有し、英または仏語で職務遂行可能なこと。

試験種目 応募書類に基づく書面審査、英または仏語による筆記試験（専門、教養）、面接。  
応募方法 下記へ問合せのこと。  
アソシエート・エキスパート  
応募資格 24～32歳、大卒後2年勤務または大学院修了、英または仏語で職務遂行可能なこと。  
応募方法 国内または海外で受験、30～40名  
応募締切 海外受験 5月上旬予定  
国内受験 5月中旬予定  
ロースター登録希望者（国際機関勤務）  
応募資格 24～50歳、大卒後学位取得分野で3年以上の実務経験、英語で職務遂行が可能なこと。  
応募方法 登録申請  
詳細については下記へご照会ください  
100 東京都千代田区霞が関 2-2-1  
外務省国際連合国連政策課 国際機関人事センター  
Tel. 03 (3580) 3311 (内2840～2841)

### ○電気通信普及財団「平成3年度福祉、文化事業および海外渡航旅費援助」

電気通信を利用した福祉、文化事業および電気通信に関する学術交流、国際協力に対する援助を行います。詳細は下記へお問合せください。

申込受付  
特別講義開設援助 平成3年5月1日～9月30日  
海外渡航旅費援助 毎年4月、8月、12月の各1日までで、それぞれ翌月1日から1年先までの旅行分。  
その他の援助 平成3年5月1日～5月31日  
問合せ先 105 東京都港区西新橋 1-6-11 西新橋和光ビル  
5階（財）電気通信普及財団  
Tel. 03 (3580) 3411 FAX. 03 (3580) 3488

## 編集室



## 会員の声

- 1月号の表紙に登場した世界地図のデザインが気に入った。グローバル化時代の象徴でもあり、本学会の国際社会への一層の貢献に期待する。

(小林石根 (株)リョーイン)

「1月号の30年後の情報処理(研究会特集)は、非常に充実した内容の特集であった、のほか、各記事についても感想が寄せられた。」

- 「編集室」での会員の声に掲載いただき、ありがとうございました。

早速、目次の頁に“工夫”してもらい、会員の声欄の新設とともに、その対応の速さに感激しております。

「少しは…、ではなく、とてもさがし易くなりました。(目次の濃いみどりのツメは有効です。)

今号も、更に、読み易さの努力がうかがわれ、素晴らしいと思います。(本文・本会記事・全国大会プロ・会告等が明確に区分されています。)

学会誌もより一層のエンド・ユーザ指向! 大いに結構。

(柴田中夫 AT&TJens)

- 2月号の定性推論の特集は、この分野の最先端研究者の解説が集まり、大変良い企画であったと思います。数年後にまた同じ題名で特集が組まれ、分野の進展の様子が報告されることを期待します。

(石田 亨 NTT)

最近の研究状況がよく整理されていてわかり易い。

非常に充実した内容の特集であった。

(服部文夫 NTT)

「2月号定性推論の応用特集について、上のように読者のご意見が寄せられています。これから多くのご意見が寄せられるものと期待しています。」(編集担当)

- 2月号の解説「並列アルゴリズムの複雑さ」について、台数効果だけに頼った評価に疑問を投げかけるものとして興味深い。

(匿名希望 東京 研究所勤務)

- 「並列アルゴリズムの複雑さ」は難しいトピックを分かりやすく解説。惜しむらくは、誤記がある。

(丸山文雄 富士通研究所)

「学会誌の改善状況について、いろいろとご意見を戴き有り難うございました、今後も引き続きご意見をFAXか郵便でお送りください。」

本号に掲載した学会30周年記念国際会議の報告には、さまざまな立場からの感想・反省・意見等が述べられています。その中には、国際会議に限らず毎年の大会やシンポジウム等の運営にも参考になるものが含まれていると思います。一方、大会・シンポジウム等の運営の結果について、その評価を含む報告が学会誌に掲載されていないのは奇妙ではないでしょうか。学会誌は、あらかじめ企画され依頼された記事だけでなく、会員からの投稿も含めて成り立つものです。是非、積極的な投稿を期待しています。(学会誌担当理事)

## 事務局だより—国際会議と湾岸戦争

中東の湾岸戦争の開戦以来、企業はテロに巻き込まれるのを恐れて、海外出張を自粛している。こうした動きはさまざまな分野に影響している。

情報処理学会にとって関係の深い国際会議、大学生の卒業旅行、ミスコンの副賞の海外旅行など戦争の長期化にともなって、海外への距離がだんだん遠くなっている。

① 大学生の卒業旅行もテロの心配とか、国際情勢の緊迫時の旅行で欧米の人達から反感を買うとの理由でキャンセルとなった所が多い。全国大学生協の旅行事業部によると今年の2月、3月の旅行の予約は好調で前年同期より1万人増の3万人であったがこのところキャンセルが続出し、このままでは逆に半減するだろうと心配している。

② 今年1月から3月に日本で開催される国際学会、国際会議でも例えば、米国からの出席予定者が半分以上も出席できないとかで中止。また、逆の海外での国際会議等も中止になるケースも多いと聞く。

学会でも ISSMM, DASFAA '91, IMS '91 の4月開催に向け鋭意準備を進めているが、関係委員の方々は気苦労されていることと思う。計画どおり成功裡に開催されることを願っております。

最近、湾岸戦争終結の兆しが見えてきたが、一刻も早く終わってほしいものである。全世界の人が望んでいる。

(文責 桜間)

## 情報処理学会入会のおすすめ

本会は、1960年にコンピュータの理論と応用についての論文と研究成果を発表する場を提供し、あわせてわが国の情報処理の学術・技術の進歩をはかる目的で設立されました。その後創立30周年を迎えた現在、本会の活動もともに活発になり、会員はすでに32,000名を超えました。

世はまさに情報化社会の到来を謳歌し、種々の憶測さえ渦巻いている時だけに、情報処理の研究開発に志のある方はもちろん、たえず進歩する「情報処理」を生涯教育の一環として勉強されている篤学の士は、俗流に流されることなく、一日も早く本会に入会され、情報処理の理論と技術・応用の基本を学ばれるよう、おすすめします。

### 1. 主 な 活 動

国内活動の根幹は機関誌の発行です。これは、現在もっとも関心をもたれている情報処理の学術・技術を解説、紹介する月刊誌「情報処理」と、会員の研究成果を発表する媒体としての「論文誌」、「欧文誌」の3誌からなっています。さらにまた、春秋2回の全国大会ならびに情報処理の基本領域における研究会で、最も新しい問題を会員相互に発表しています。

国際的には、1980年10月に東京で世界52カ国2,260名の参加を得て、IFIP Congress '80を主催しました。最近ではソフトウェア工学、VLSIの国際会議を、さらに1986年にはアーキテクチャ、Very Large Data-Base (VLDB)、1987年にはCOMPSACなどの各国際会議の日本開催を実施するなど、海外との学術交流をすすめております。

### 2. 主 な 事 業

上記の活動の具体的内容は次のとおりです。

- |                                            |                            |
|--------------------------------------------|----------------------------|
| (1) 機関誌の発行                                 | (4) 支部の活動                  |
| 学会誌「情報処理」(月刊)                              | 北海道、東北、中部、関西、中国、四国、九州      |
| 論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)                         | (5) 情報規格調査会                |
| 欧文誌「Journal of INFORMATION PROCESSING」(季刊) | ISO, IEC, JIS など、標準規格の調査研究 |
| (2) 研究発表                                   | (6) 国際学術交流                 |
| 全国大会(春・秋)、研究会、調査委員会                        | IFIP, ACM, IEEE, IAPR など   |
| (3) シンポジウム、講習会、講演会                         | (7) 情報処理叢書など学術図書の発行        |
|                                            | (8) 関連学協会との連絡、協力           |

### 3. 会 員 の 特 典

学術研究を目的とする社団法人としての本会の主体者は、正会員です。つまり、全会員から直接選挙によって選出された役員により理事会を構成し、総会決定の事業計画にもとづき、会員のために運営されております。したがって下記の事業への参加は、まず会員であることを原則としています。

- 学会誌「情報処理」の無料配布
- 「論文誌」、「欧文誌(JIP)」への寄稿と、会員特価購入*
- 大会での論文発表、優先参加
- 各種研究会への登録資格*
- シンポジウム、講習会、講演会などへの優先参加
- 支部活動への参加
- ACM 会費の20%割引、IEEE-CS 準会員の特典、IAPR NEWSLETTER の配布(希望者のみ)
- 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会入会金の免除

* 4. 入会の手続き参照



#### 4. 入会の手続き

本号巻末綴込の入会申込書（個人会員用）に必要事項をご記入のうえ、紹介者（本会の正会員）の署名と捺印を得て、会員の種別により下記の入会金および年間会費を添えてお申し込みください。ただし、電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会の会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金の納入を免除します。なお、年間会費は4月から翌年3月までの会費ですので、年度途中の入会者には、送付したバックナンバーの誌代を含め、翌年度会費請求時に精算いたします。

##### ○会員の種別、入会金、年間会費

会員種別		資 格	入会金	年間会費	学会誌	*論文誌	*欧文誌	研究会登録
個人 会員	正 会 員	専門の学識または相当の経験を有する者	2,000円	9,600円	無 料 送 付	有 料 4,500円	有 料 3,000円	各研究会ごとに 2,500円～ 4,000円
	学生会員	大学学部および大学院修士課程まで	—	4,800円	無 料 送 付	有 料 4,500円	有 料 3,000円	“
賛 助 会 員		本学会の目的事業を賛助する団体	—	** 1口につき 50,000円	無 料 送 付	有 料 4,500円	有 料 3,000円	“
購 読 員		○大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体 ○賛助会員である企業の事業所あるいは研究所	—	** 1口につき 20,000円	無 料 送 付	無 料 送 付	無 料 送 付	

* 非会員の場合は、論文誌 7,800 円、欧文誌 6,000 円

** 何口でも可

##### ○会費の一括納入

同一事業所または研究所に 10 名以上の会員がいる場合には、会員の希望により、会費の一括納入と学会誌の一括配布の制度を利用することができます。学会事務局の「一括の係」へお問い合わせください。

##### ○入会後の会費納入について

会費は前納を原則とします。したがって毎年 1 月下旬に請求しますので、新年度の始まる前月の 3 月末までに納入していただきます（会費の分納は認められません）。

##### ○会費の預金口座自動振替納入について

正会員（前記一括扱いの会員は除く）の方は、ご指定の銀行などの預金口座から会費および論文誌・欧文誌の購読費を毎年 3 月 27 日（休日の場合は翌営業日）に自動振替により納入することができます（研究会登録費は取扱いません）。

希望者は入会手続きの際、所定の預金口座振替依頼書により同時にお申込みください。次年度会費・購読費から自動振替の取扱いをいたします（新入会時の入会金・会費・購読費は取扱いません）。

##### ○入会後の機関誌配布について

機関誌は入会が理事会で承認された翌月から送付いたします。

入会申込先：☎ 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 階  
☎ (03) 3505-0505  
(社)情報処理学会 会員係

# 記入要領

該当するものに○をつけ、網かけ以外を黒インク、黒ボールペンで記入して下さい。

(注意点) ○ 数字は算用数字とする。

○ カナ記入欄では、濁音、半濁音は2文字として記入する。(例) ヤマサ"キ

○ 漢字記入欄では、ひらがな・カタカナの濁音、半濁音、英文字は、1文字として記入する。(例) がピAg8

## (記入例)

### 社団法人 情報処理学会 入会申込書 (黒インク、黒ボールペンを使用し、網かけ以外を記入してください。)

④ 本申込書と入会金および会費の送金を以て入会の手続きとします。詳細は、「入会のおすすめ」をご覧ください。

入会適用年月	H 年 月	会員番号	
会員種別	1. 名誉会員 ② 正会員 3. 学生会員		
氏名(カナ)	イイタ ミチ		
氏名(漢字)	池田 南		
性別	1. 男 ② 女		
生年月日	⑤ 37年 01月 01日		
通信区分	1. 自宅 ② 勤務先(個人) 3. 勤務先(一括)		
自 宅	住所	〒105- 東京都港区芝公園3-5-8 振興308号	
	電話番号	03-3431-2808	
勤 務 先	住所	〒106- 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル3F	
	電話番号	03-3505-0505	
在 学 校 所 在 地	名称(カナ)	ジヨウリョウヨリカッカイ	
	名称(漢字)	社情報処理学会	
所 属 地	所属(カナ)	ソウトウエアカイハツブOA1カ	
	所属(漢字)	ソウトウエア南沢部OA1課	
役職名			
コード	機 関	グループ	申込書受付 入 金
	支部・県		

*裏面も記入してください。

注) 株式会社 - (株) 合資会社 - (資) 社団法人 - (社) 有限会社 - (有)  
財団法人 - (財) 協同組合 - (協) 合名会社 - (名) 特殊法人 - (特)

正会員：専門知識又は、相当の経験を有する者  
学生会員：大学及び大学院修士課程まで

・住所は都道府県から記入する  
・〇丁目〇番〇号は〇-〇-〇のように記入する  
・次の文字は1マスに記入する

ア	バ	ピ	マ	ン	コ
ー	ー	ー	ー	ー	ー
ハ	ン	コ	ボ	ラ	ス
ハ	ン	コ	ボ	ラ	ス
メ	ソ	ン	レ	ジ	ス
メ	ソ	ン	レ	ジ	ス

・勤務先、学校名は正式名で記入する  
・株式会社、有限会社などの表現は、それぞれ省略し、注)のように1マスに記入する  
ただし、カナ記入欄は省略する

- ・最終学歴を記入する（卒業予定者も含む）
- ・大学院に進まれた方は、修士課程、博士課程を併記のこと

卒業（予定）年月も記入する

会  
告

学会承認の提携学  
会等（例 IEEE）の  
メールを受取るこ  
とへの可否につい  
て記入する

内訳と合計を必ず  
記入する

正会員が署名、  
捺印する  
（近くにない  
場合は、その旨  
をメモ欄に記  
入）

学 歴 I (卒業予定含む)	学校名	東京大学	卒年月 I (予定)	2010年03月
	学部名	工学部	学科名	電子工学専攻
学 歴 II (卒業予定含む)	大学名	東京大学	卒年月 II (予定)	2012年03月
	研究科名	工学研究科	専攻名	情報工学専攻
学 歴 III (卒業予定含む)	大学名	東京大学	卒年月 III (予定)	2012年03月
	研究科名	工学研究科	専攻名	情報工学専攻
学校区分	1. 大学 2. 短大・高専 3. 専門・各種学校 4. 高校			
博士号	1. 工学 2. 理学 3. Ph.D 4. その他 ( )			
希望購読誌	A. 論文誌 B. 欧文誌			
メール	0. 要 1. 不要			
バックナンバ 希 望	年 月号より			
他の学会への 在 会 状 況	1. 電気学会 2. 電子情報通信学会 3. 照明学会 4. テレビジョン学会 ※ 5. その他（日本ソフトウェア科学会・人工知能学会・）			
送 金 額	入会金	2,000 円	送 金 方 法	1. 現金持参
	会 費	9,600 円		2. 現金書留 ※※
	論文誌	4,500 円		3. 郵便振替
	欧文誌	円		4. 銀行振込 (太陽神戸三井 銀行)
	合 計	16,100 円		
紹 介 者	正会員 落合達也 (印)			

有料の機関誌購  
読希望の方は記入  
する  
購読費について  
は、『4. 入会の  
手続き』参照のこ

年度中途の入会  
で当該年度のバ  
ックナンバを希望  
の方は記入する  
（残部のある場合  
のみ送付）

銀行振込の場合  
は、必ず送金先  
会取扱銀行名を  
入する

～ メ モ 欄 ～

※ 1. 2. 3. 4. の各学会の会員で、在会証明書を入会申込書に添付した場合には、  
入会金の納入を免除します。

※※

○取扱銀行（いずれも普通預金口座）

○郵便振替口座 東京 5 - 83484

第一勧銀 虎ノ門支店 1013945

三菱銀行 虎ノ門公務部 0000608

住友銀行 東京公務部 10899

富士銀行 虎ノ門支店 993632

三和銀行 東京公務部 21409

太陽神戸三井銀行

東京営業部 4298739

○送 金 先

(社) 情報処理学会

〒 106

東京都港区麻布台 2 - 4 - 2

保科ビル 3F

☎ (03) 3505 - 0505

[illegible]

*裏面も記入してください。



今月の学会誌をお読みになったご感想・ご意見などを記入して、FAX または郵便にて学会誌編集係あてにお送りください。（記入欄が不足する場合は適宜別紙を追加してください。）

なお、皆さまのご意見をもとに、最も多くの会員の興味を呼び、分かりやすいと評価された記事の著者に「Best Author 賞（仮称）」を贈呈する予定です。

宛 先：FAX 03 (3584) 7925（本用紙を含む送信枚数 枚）

住 所 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

情報処理学会 学会誌編集係 御中

発信者：（ご芳名） （会員番号）

（ご所属） （電話番号）

1. 本号記事の中であなたが読まれた記事（多数読まれた場合は特に印象に残った記事）、および本号全般についてのあなたの評価をご記入ください。

記事の 開始頁 番 号	総合 評価 ＊	記述が分 かりやす い ＊	内容が 興味深 い ＊	自分の研究・ 仕事に役に立 つ ＊	時機を 得た企 画だ＊	その他の感想あるいは 印象に残った理由等 （具体的にお書きください）
本 号 全般の 評 価						

＊評価は次の5段階でご記入ください。

5. 非常に良い 4. 良い 3. 普通／なんともいえない 2. 悪い 1. 非常に悪い

2. 学会誌の改善についてのご意見やご提案がありましたら自由にお書きください。

「編集室」に掲載することがあります。その場合 ☐実名可, ☐匿名希望, ☐掲載不可

## 「情報処理学会 30 年のあゆみ」の頒布について

すでに本欄でお知らせしたように、創立 30 周年記念事業の一環として、標記 30 年史が発行されました。1960 年の創立以来学会の諸活動をととして、わが国の情報処理の学術技術発展の軌跡と、将来の展望を明らかにしています。会員の皆さまは、自己の情報処理研究のあゆみと重ね合わせることで、未来への研究意欲と指針を得られることと存じます。

部数に制限がありますので、ご希望の方は次の事項を明確にし、早目にはがきまたは FAX でお申込みください。

- 頒布価 @ 3,090 円（消費税、送料込み）、送金（現金または銀行の別）
- 送本先（住所、氏名、電話等）
  - a. 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル（社）情報処理学会 30 年のあゆみ係）
  - b. 銀行振込口座および郵便振替口座は学会誌目次欄に記載してあります。

### 目 次

歴代会長（肖像）就任あいさつ

創立 30 周年記念事業

記念全国大会／記念論文／情報処理学会“未来像”の策定／記念出版／記念祝典／

記念国際会議／特別賛助活動／記念事業顧問団／協賛団体

#### 第 1 編 学会 30 年のあゆみ

##### 〔第 1 章〕 30 年の軌跡

1960～1969 年（草創のころ） 高橋 茂

1970～1979 年（中世から近代へ） 穂坂 衛

1980～1989 年（巨大会への道） 大野 豊

##### 〔第 2 章〕 活動のあゆみ

沿革／会員／支部活動／総会／機関誌／調査研究活動／全国大会／国際活動／記念事業／出版活動／表彰／  
会計／事務局

（思い出）和田 弘 萩原 宏 大野 豊 森口繁一 坂井利之 尾関雅則 清野 武 山本欣子

#### 第 2 編 規格活動の軌跡

高橋 茂

はじめに／標準化活動の発足／国際的な組織の変遷／国内組織の変遷／標準化活動の概観／特記すべき活動／  
将来の展望

#### 第 3 編 情報処理技術の発展と展望

- |                     |            |                       |                |
|---------------------|------------|-----------------------|----------------|
| 〔1 章〕 基礎理論          | 野崎昭弘       | 〔8 章〕 日本語情報処理         | 長尾 真           |
| 〔2 章〕 コンピュータアーキテクチャ | 相磯秀夫       | 〔9 章〕 人工知能            | 堂下修司           |
| 〔3 章〕 オペレーティングシステム  | 高橋延匡       | 〔10 章〕 コンピュータグラフィックス  | 中前栄八郎          |
| 〔4 章〕 プログラム言語       | 和田英一       | 〔11 章〕 CAD/CAM        | 山田昭彦           |
| 〔5 章〕 データベース        | 植村俊亮       | 〔12 章〕 パーソナルコンピューティング | 石田晴久           |
| 〔6 章〕 ネットワーク        | 野口正一       | 〔13 章〕 応用システム         | 福井隆夫 高根宏士 三木彬生 |
| 〔7 章〕 ソフトウェア工学      | 落水浩一郎 春原 猛 | 年表／あとがき／索引            |                |